

シアントラニリプロールに関する御意見		
番号	御意見（概略）	回答
1	<p>【意見 1】</p> <p>臭素 (Br) が含まれている事について望ましくないように思われる。環境中への臭素の拡散は抑えるべきと考えるが、今回、こまつな、その他のゆり科野菜、みつば、その他のうり科野菜、でその基準値が大きく増やされている事については望ましくないと考える。</p> <p>（なお、他の野菜についても従前5以上のものは従前の基準値を大きく減少させるべきと考える。）</p> <p>おそらく代替の薬剤というのは他に存在すると思われるが、他で代替が可能なのであれば臭素が配合された薬剤については使うべきでないので、基準値について低くするようにしていただきたい。</p> <p>意見は以上である。</p>	<p>【回答 1】</p> <p>厚生労働省では、内閣府食品安全委員会における食品健康影響評価の結果を踏まえ、残留試験の結果や国民の各食品の摂食量データ等に基づき、薬事・食品衛生審議会において専門家や消費者の御意見を聴いて、幼小児、妊婦及び妊娠の可能性のある女性も含めて国民の健康に悪影響が生じないよう、農薬の残留基準を設定しています。</p> <p>今回のこまつな、その他のゆり科野菜、みつば及びその他のうり科野菜の残留基準については、国際基準であるコーデックス基準に基づき基準値を設定しています。コーデックス基準が設定されている場合、衛生植物検疫措置の適用に関する協定 (SPS協定) により、原則として、コーデックス基準に準拠することが義務付けられています。今回のシアントラニリプロールに関する残留基準の設定においても、コーデックス基準に準拠して設定しています。コーデックス基準の設定の根拠とした残留試験データ等が記載されている評価レポートについては、FAO又はWHOのwebサイトにおいて入手可能です。下記のホームページ等を御覧ください。</p> <p>http://www.fao.org/agriculture/crops/core-themes/theme/pests/lpe/en/</p> <p>なお、残留基準の設定に係る資料については、農薬・動物用医薬品部会の資料及び内閣府食品安全委員会の食品健康影響評価を御確認ください。</p> <p>（農薬・動物用医薬品部会の資料）</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24373.html</p> <p>（農薬・動物用医薬品部会の議事録）</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000932630.pdf</p> <p>（食品健康影響評価）</p> <p>http://www.fsc.go.jp/fscis/evaluationDocument/show/kya20210519111</p>

全般に係る御意見

番号	御意見（概略）	回答
1	<p>【意見1】</p> <p>承認農薬成分数約600種、添加物約830種、遺伝子組換え食品系400種、遺伝子組換え飼料100種、抗生物質、ホルモン剤、ゲノム編集成分など、全部合わせれば驚くべき数字。にも関わらず、審査の段階では単品の成分で影響を確認するにとどまっている。複合効果を検証しろと意見を出しても「複数の化合物への暴露については、現段階では国際的にも、評価手法として確立したものはなく、検討段階にある・・・。FAO/WHOでは、・・・複数の化合物への暴露に対するリスク評価手法について検討することとされていることから、引き続き、最新の情報収集に努めてまいります。」という「先送り」状態。「確立されていないからこそ、確立されるまで一律禁止」にすべきではないか？一律禁止ができないなら、既存の基準値もすべて安全係数を1,000に設定して基準を厳しくすべき。</p>	<p>【回答1】</p> <p>複数の化合物への暴露については、現段階では国際的にも、評価手法として確立したものはなく、検討段階にあることから、現段階では総合的な評価は困難であると考えています。</p> <p>FAO/WHOでは、JMPR（FAO/WHO合同残留農薬専門家会議）やJECFA（FAO/WHO合同食品添加物専門家会議）において、複数の化合物への暴露に対するリスク評価手法について検討することとされていることから、引き続き、最新の情報収集に努めてまいります。</p> <p>安全係数については、内閣府食品安全委員会における許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の設定では、各種毒性試験で得られた無毒性量から、ヒトと毒性試験に供した動物との種差及びヒトの個人差（人種、健康状態、生活状況、年齢等）を考慮して安全係数100を除いて決めているものと承知しています。</p>